



2025年2月14日

各 位

会社名 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 聡
(コード番号: 3916 東証プライム)
問合せ先 取締役 副社長 経営企画本部長
小松 裕之
(TEL 03-6311-6532)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年8月9日に公表しました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2025年6月期 通期連結業績予想の修正

(2024年7月1日～2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,000	2,600	2,600	1,804	120.70
今回修正予想 (B)	24,000	2,900	2,900	1,943	131.45
増減額 (B - A)	2,000	300	300	138	
増減率 (%)	9.1	11.5	11.5	7.7	
(ご参考) 前期実績 (2024年6月期)	19,888	2,424	2,409	1,686	112.83

(2) 修正の理由

2025年6月期の国内経済は緩やかな回復基調にあるものの、物価上昇やエネルギー価格の高止まりが消費者心理に影響を与え、需要の回復は限定的でした。一方、当社が属するソフトウェア業界では、DX化ニーズの高まり、車載技術の先進化の進展、サイバーセキュリティ対策の強化など、さまざまな課題を解決するための需要が引き続き旺盛です。

このような状況のもと、当社は当初、社員の処遇改善、のれんの償却、パートナー単価の引き上げなどに伴う費用増を考慮し、緩やかな成長を見込んでおりましたが、旺盛な需要に支えられ、これらの費用増を十二分に吸収し、想定を上回る業績を達成することができました。

ビジネスソリューション事業においては、金融系への回帰戦略が功を奏するとともに、一過性ではあるものの、公共系の高単価案件が業績に寄与しました。

エンベデッドソリューション事業においては、車載系がさらに拡大するとともに、検証業務は事業基盤が整い、成長期に達しました。

プロダクトソリューション事業においては、サイバーセキュリティ製品や業務効率化製品が着実に成長するとともに、電子契約関連のS I 開発や、M&Aでグループに加わったジャングル社の年賀状ソフト販売が業績に寄与しました。

下期も当社グループを取り巻く環境に大きな変化はなく、引き続き好調に推移する見込みであるため、業績見通しを上方修正することにいたしました。営業利益については、上期にあった一過性の案件や季節性要因などの特殊要因を除外するとともに、事業成長に向けた新たなビジネスモデルの創出やAI 関連等への戦略的投資、及びインセンティブ施策を考慮したものとしております。

これらを踏まえ、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも当初予想を上回る見込みです。

なお、今回見直した営業利益は、昨年8月に公表した中期経営計画における2026年6月期の業績目標(営業利益28.7億円)を上回り、1年前倒しでの達成が見込まれます。

2. 配当予想の修正について

(1) 2025年6月期 配当予想の修正

	第2四半期	期 末	合 計
前回発表予想 (2024年8月9日)	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00
今回修正予想	—	36.00	66.00
当 期 実 績	30.00		
前 期 実 績 (2024年6月期)	23.00	23.00	46.00

(2) 修正の理由

当社は、利益配分につきましては、内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2025年6月期の当社の期末配当については、今回修正した業績予想及び財政状態等を総合的に勘案した結果、当社の配当基本方針である配当性向50%以上を踏まえ、1株当たり6.00円増の36.00円の期末配当を実施する方針といたしました。

※上記の予想は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

以上